

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】令和 1 年 5 月 30 日 (2019.5.30)

【公表番号】特表 2018-517212 (P2018-517212A)

【公表日】平成 30 年 6 月 28 日 (2018.6.28)

【年通号数】公開・登録公報 2018-024

【出願番号】特願 2017-563196 (P2017-563196)

【国際特許分類】

G 0 6 F 9/318 (2006.01)

G 0 6 F 9/30 (2018.01)

G 0 6 F 9/312 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 9/318 A

G 0 6 F 9/30 3 5 0 F

G 0 6 F 9/312 L

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 4 月 19 日 (2019.4.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

過渡的ロード命令、第 2 の命令、およびロードデータを記憶するための第 1 の手段と、
前記過渡的ロード命令および前記第 2 の命令を記憶するための第 2 の手段と、
記憶するための前記第 1 の手段および記憶するための前記第 2 の手段に結合された、データ
を処理するための手段と

を備え、

データを処理するための前記手段が、

記憶するための前記第 1 の手段から前記過渡的ロード命令を取り出すことと、

記憶するための前記第 2 の手段に前記過渡的ロード命令を記憶することと、

前記過渡的ロード命令に応答して、記憶するための前記第 1 の手段から前記ロードデータ
を取り出すことと、

前記過渡的ロード命令に応答して、記憶するための前記第 2 の手段に前記ロードデータ
を記憶することと、

前記ロードデータを使用して前記第 2 の命令を実行することと

を行うように構成される、装置。

【請求項 2】

データを処理するための前記手段が、記憶するための前記第 2 の手段を参照することによ
って前記ロードデータを取り出し、前記ロードデータを取り出すために記憶するための
前記第 2 の手段を参照することによって前記第 2 の命令を実行するようにさらに構成される
、または、

データを処理するための前記手段が、前記過渡的ロード命令と、前記第 2 の命令とを含
む超長命令語パケットを処理するように構成された超長命令語プロセッサである、または

、

前記過渡的ロード命令が、複数の命令パケット中の第 1 の命令である、請求項 1 に記載の
装置。

【請求項 3】

第3の命令をさらに含み、データを処理するための前記手段が、前記ロードデータを使用して前記第3の命令を実行するように構成される、請求項1に記載の装置。

【請求項 4】

前記第3の命令が、1クロックサイクルで第2のメモリに対する読取りおよび書込みを可能にするメモリ書込み命令である、請求項3に記載の装置。

【請求項 5】

データを処理するための前記手段が、1クロックサイクルで前記過渡的ロード命令を取り出し、前記ロードデータを取り出し、前記第2の命令を実行するようにさらに構成される、または、

データを処理するための前記手段が、複数のクロックサイクルで前記過渡的ロード命令を受け取り、前記ロードデータを取り出し、前記第2の命令を実行するようにさらに構成される、請求項1に記載の装置。

【請求項 6】

前記装置が、音楽プレーヤ、ビデオプレーヤ、エンターテインメントユニット、ナビゲーションデバイス、通信デバイス、モバイルデバイス、モバイル電話、スマートフォン、携帯情報端末、固定位置端末、タブレットコンピュータ、コンピュータ、ウェアラブルデバイス、ラップトップコンピュータ、サーバ、および/または自動車車両内のデバイスから成るグループから選択されたデバイスに組み込まれ、前記デバイスをさらに含む、請求項1に記載の装置。

【請求項 7】

記憶するための前記第1の手段が、メモリであり、

記憶するための前記第2の手段が、命令レジスタであり、

データを処理するための前記手段が、プロセッサである、請求項1から6のいずれか一項に記載の装置。

【請求項 8】

プロセッサによってメモリロード演算を実行するための方法であって、

メモリから過渡的ロード命令を取り出すステップと、

命令レジスタに前記過渡的ロード命令を記憶するステップと、

前記過渡的ロード命令に応答して、前記メモリからロードデータを取り出すステップと

、
前記過渡的ロード命令に応答して、前記命令レジスタに前記ロードデータを記憶するステップと、

前記ロードデータを使用して第2の命令を実行するステップと
を含む、方法。

【請求項 9】

前記命令レジスタを参照することによって前記ロードデータを取り出すステップと、前記ロードデータを取り出すために前記命令レジスタを参照することによって前記第2の命令を実行するステップとをさらに含む、請求項8に記載の方法。

【請求項 10】

前記命令レジスタに前記ロードデータを記憶するステップおよび前記第2の命令を実行するステップが、超長命令語型プロセッサによって実施され、前記過渡的ロード命令および前記第2の命令が、超長命令語パケットである、または、

前記過渡的ロード命令が、複数の命令パケット中の第1の命令である、請求項8に記載の方法。

【請求項 11】

前記ロードデータを使用して第3の命令を実行するステップをさらに含む、請求項8に記載の方法。

【請求項 12】

前記第3の命令が、1クロックサイクルで第2のメモリに対する読取りおよび書込みを可

能にするメモリ書込み命令である、請求項11に記載の方法。

【請求項 1 3】

前記過渡的ロード命令を取り出すステップ、前記ロードデータを取り出すステップ、および前記第2の命令を実行するステップが、1クロックサイクルで行われる、または、前記過渡的ロード命令を取り出すステップ、前記ロードデータを取り出すステップ、および前記第2の命令を実行するステップが、複数のクロックサイクルで行われる、請求項8に記載の方法。

【請求項 1 4】

前記第2の命令を実行するステップが、音楽プレーヤ、ビデオプレーヤ、エンターテインメントユニット、ナビゲーションデバイス、通信デバイス、モバイルデバイス、モバイル電話、スマートフォン、携帯情報端末、固定位置端末、タブレットコンピュータ、コンピュータ、ウェアラブルデバイス、ラップトップコンピュータ、サーバ、および/または自動車車両内のデバイスから成るグループから選択されたデバイスに組み込まれるプロセッサによって実施され、前記デバイスをさらに含む、請求項8に記載の方法。

【請求項 1 5】

プロセッサに請求項8から13のいずれか一項に記載の方法を行わせるように構成されたプロセッサ実行可能命令を含む、プロセッサ実行可能なコンピュータ記憶媒体。